

# 市民文芸

## 短歌

阿南市春季短歌誌上大会 選

特選 ただいまと辛夷の花の向こうから通所介

護の母晴れやかに 亀島賀陽子

特選 田園に大型店舗出現す豪華客船寄港する

ごと 中原きみ子

特選 日に数度身軽なバスが通い来る故郷の

家々みな南向き 森岡 圭子

特選 賞味期限過ぎたるように戻りくる切手不

足と赤字で書かるる 吉永賀代子

特選 小春日の庭いちめん伸子張昔懐かし亡

母の手伝い 矢野 道子

特選 満開の白木蓮に日に幾度とてもきれいと

声かけてやる 臣永 悦子

特選 リポビタン買い来て「バアちゃんおめでとう」

忘れていたる吾が誕生日 勢井 恒子

特選 代替わり令和のおせち嫁の色ハムにパパ

リカ・チーズも並ぶ 原 美智子

特選 啓蟄といふも地虫よ出るなかれ地上はコ

ロナウイルス地獄 森田 道子

【訂正】 広報あなん6月号短歌で誤りがありま

した。お詫びし、訂正します。

(誤)井上絹子さん (正)井坂絹子さん

## 俳句

阿南市俳句連合会 選

牟岐線のここが終点茄子の花

見渡して弘法麦の砂丘かな

朝方はみのむしになり夏蒲団

悔い多き人生回顧螢の夜

糠床に二本並べし初きゅうり

やまももに郷愁深き昭和人

絵手紙に枇杷と歌詠みくれし人

飛び石は女性の歩幅苔の花

登校児黄帽子ならぶ田植かな

手の窪にしぼしどめて初螢

中分 明美

小西 晴美

萩原 陽子

山野 賢治

西改 幸

石井 政子

田上 隆敏

田木 勲

笹田 知陸

藤本 弘子

## 川柳

阿南川柳会 田上鶴子 選

ふるさとの空が見たくて土手に立つ

子の世話になろうと決めている勝手

本読んで下がったつもり血糖値

無駄話母の教えが盛られてた

眠れねばそれでもいいさ自由の身

駅ピアノ自信と余裕あるオーラー

滝川 太郎

渡邊 浪漫

橋本 征介

佐藤つたえ

高木 旬笑

持木 寿栄

## 一般応募

それなりの個性覗かす夏帽子

一日がコピーのように過ぎてゆく

星月夜昔の恋がふらふらと

鳥尾美津子

武田 敏子

仁井 信子

## 漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

### 初夏偶吟

窓前花去忽啼鵲

新樹青青物外牽

煎茗欲吞雲一片

伴風入椀夏初天

窓前花去つて 忽ち啼鵲

新樹青青 物外に牽く

茗を煎に 呑まんと欲す雲一片

風を伴つて椀に入る 夏初かよの天

井関喜久子

### 北の脇海岸

東天無際太平洋

南北白砂潮汐香

春歩夏游秋看月

冬來巖上釣絲長

東天際無し 太平洋

南北 白砂 潮汐香る

春に歩し夏には遊び 秋 月を見る

冬來たれば巖上 釣糸長し

原 美智子

### 平島公方月峯げつぽうの還るを送る

月峯爲虜自朝鮮

厚遇東嶽詩藻縁

公亦交深同道送

肥前絶唱覽殘編

月峯虜と爲つて 朝鮮よ自りす

東嶽とうがくに厚遇されしは 詩藻の縁

公も亦 交深うして同道して送る

肥前の絶唱 残編に覽る

※東嶽—禅僧、藩主家政の義兄、藩政顧問。

※肥前の絶唱—月峯に肥前名護屋にて涙の留別詩あり。



【ケイトウ(麗炎)】

7～11月に開花する1年草。暑くても長持ちし、ドライフラワーにしても鮮やかな色が人気。阿南市、那賀町で生産されているケイトウは、全国第3位の出荷量を誇る。